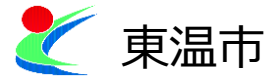


プレスリリース

報道機関 各位



^{まつやま}
E11松山自動車道『東温スマートインターチェンジ』
^{とうおん}
開通 1 年後の交通状況と整備効果について

令和 6 年 3 月 23 日（土）に開通した E11 松山自動車道 東温スマートインターチェンジ（IC）の開通 1 年後の交通状況と整備効果についてお知らせします。

【開通後の交通状況】

- 東温スマート IC の交通量は、約 3, 170 台/日（R7. 4～6 月の平均）。
昨年度（R6. 4～6 月の平均）より約 1. 3 倍に増加。（P2）

【産業への効果】

- 東温市内に立地する各工業団地からの高速道路へのアクセスが向上し、走行距離の短縮や燃料費の削減、労働時間の減少など、周辺企業活動の効率化を支援。（P3）

【救急医療への効果】

- 東温市内にある各医療機関への傷病者の搬送において、東温スマート IC を経由することで走行距離や所要時間が短縮し、患者への負担軽減に寄与。（P4）

【防災への効果】

- 陸上自衛隊松山駐屯地や愛媛県警察機動隊の緊急時の部隊派遣時間短縮に貢献。（P5）

【観光への効果】

- 東温スマート IC 及び松山外環状道路の開通による相乗効果により、松山空港方面からの東温市内へのアクセスが向上し、観光施設に様々な波及効果が発生。（P6）

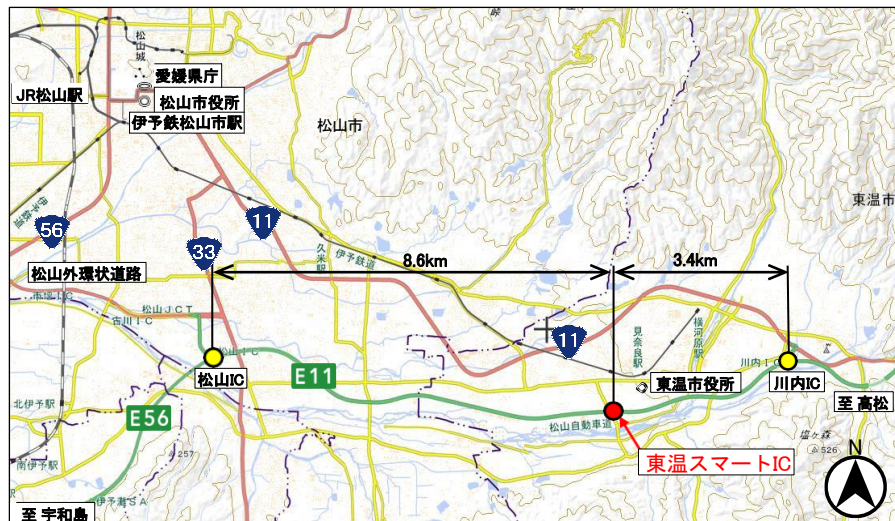
（お問い合わせ先）

東温市 産業建設部 建設課（大森、加藤）

TEL（直通）089-964-4472（平日 8:30～17:15）

東温スマートICの概要

【位置図】



※国土地理院ウェブサイト「地理院地図（電子国土Web）」の地図画像を加工して作成

【概要】

開通年月日	令和 6 年 3 月 23 日(土)
設置箇所	愛媛県 東温市 田窪 (E 11 松山自動車道 川内IC～松山IC 間) ※スマートICへのアクセス道路:市道高速側道1号線 及び市道高速側道2号線
利用時間	24時間利用可能
出入方向	全方向利用可能
対象車種	ETC車載器を搭載した全車種

【現地写真】



〔松山自動車道上り 出入口〕



撮影日：R7.2.19（水）

〔松山自動車道下り 出入口〕



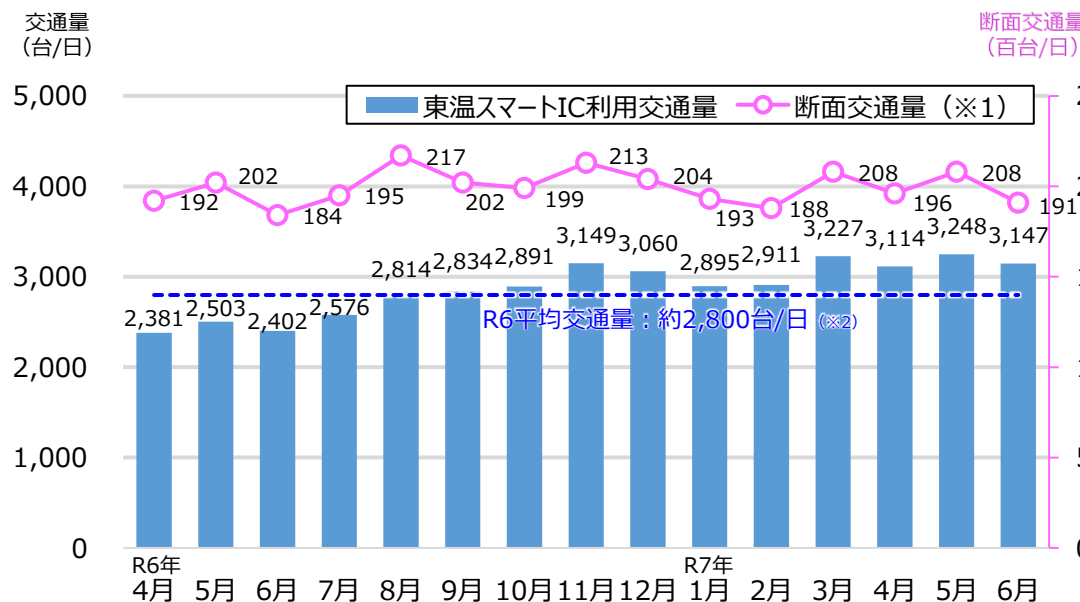
撮影日：R7.2.27（木）

撮影日：R7.6.6（金）

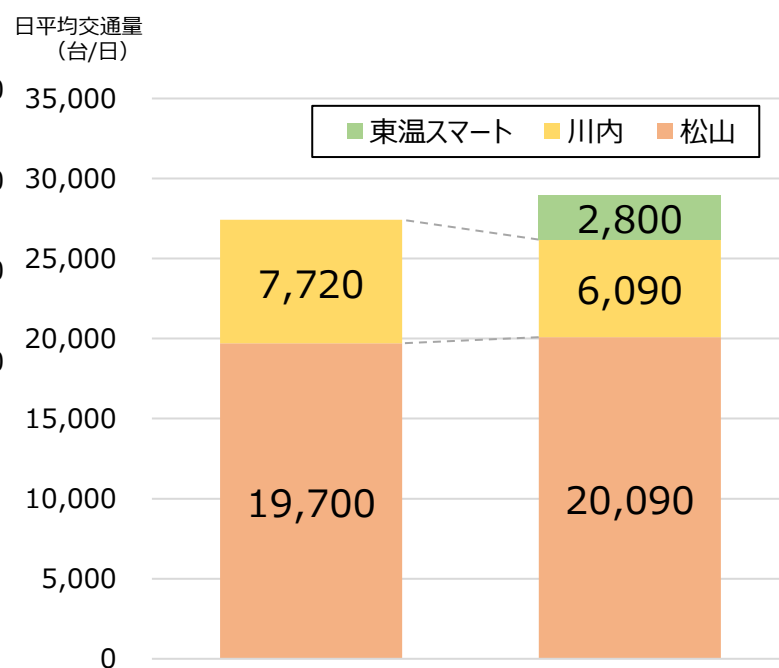
東温スマートICの交通量

- 東温スマートICの令和6年度の平均交通量は約2,800台/日(R6.4～R7.3)。
- 4月～6月における交通量は1年間で約1.3倍に増加(R6:約2,430台/日 → R7:約3,170台/日)。
- 隣接する川内IC、松山ICを含めた交通量は、開通後に約1,600台/日増加。

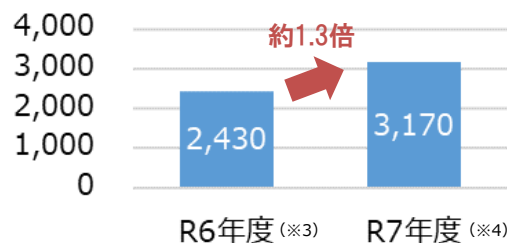
【東温スマートIC交通量等】



【東温スマートIC及び隣接ICの交通量】



【東温スマートIC交通量(4～6月)】



- ※1：川内IC～東温スマートICにおける断面交通量
- ※2：R6.4.1～R7.3.31における東温スマートICの日平均交通量
- ※3：R6.4.1～R6.6.30における東温スマートICの日平均交通量
- ※4：R7.4.1～R7.6.30における東温スマートICの日平均交通量

	R5年度	R6年度	増減
東温スマートIC	-	2,800	2,800
川内IC	7,720	6,090	▲1,630
松山IC	19,700	20,090	390
合計	27,420	28,980	1,560

※集計期間： R5年度 | R5.4.1～R6.3.22 (R6.3.23～R6.3.31は除く)
R6年度 | R6.4.1～R7.3.31

周辺の企業活動の効率化

- 東温市には、重信工業団地や田窪工業団地などの複数の工業団地や物流関連施設が立地。
- 東温スマートICの開通により松山自動車道へのアクセスが向上したことで、走行距離の短縮や燃料費の削減、労働時間の減少など、周辺企業の活動の効率化を支援。

【東温市の工業団地の立地状況】



【関係者の声】



製造業A
(重信工業団地)

営業活動において、4台の車両が月あたり6～8回程度高速道路を利用しています。
以前は川内ICを経由していましたが、今は東温スマートICを経由しています。



卸売業
(東温エコの森工業団地)

卸先への輸送は業者に委託しており、高速利用料金は当社が実費を精算しています。**川内ICから東温スマートICに変更したことで高速料金が削減されました。**



サービス業
(スマートIC近傍)

南予エリアの集配は往復で20～30分短縮しており、**従業員の労働時間(残業時間)が削減されました。**集配時間が短縮したことで、**事業所では従来翌日に回す業務が当日に間に合うようになりました。**ヒアリング調査結果 (R7.2)

【工業団地から高速道路までの所要時間】

【重信工業団地】



市道前川堤防線の開通でさらなる短縮が期待

【田窪工業団地】



【東温エコの森工業団地】



※ 所要時間：ETC2.0プローブデータ [国土交通省提供データ] より、工業団地からIC入口までを算出
開通前 | R3.9～11平日、開通後 | R6.9～11平日の昼間12時間平均値
※ 一部の市道区間は「令和3年度全国道路・街路交通情勢調査」より、愛媛県の地方道平均の28.6km/hを使用

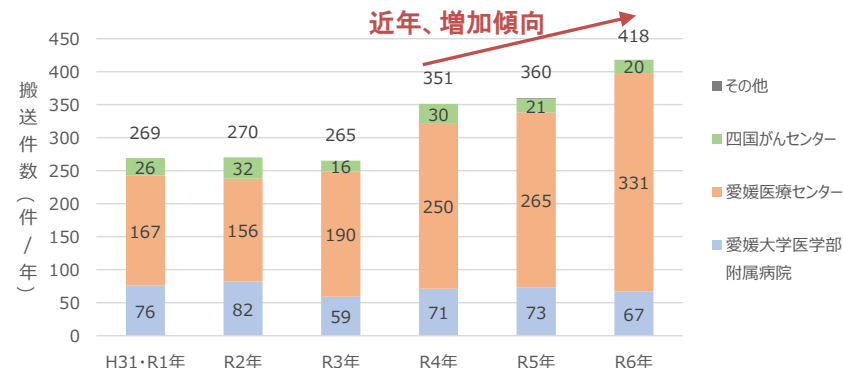
【救急医療】救急救命活動の支援

- 東温市の医療機関では二次医療圏に関わらず傷病者の受け入れを行っている。伊予および南予方面の救急隊からの救急搬送は近年増加傾向にあり、令和6年には年間400件以上の実績。
- 東温スマートICを経由することで、各医療機関までの走行距離や所要時間は短縮しており、現場の救急隊からは患者への負担軽減に繋がっているとの声。

【伊予IC（南予方面）から東温市内医療機関への搬送経路】



【南予方面からの東温市内の医療機関への搬送件数の推移】



資料：伊予消防等事務組合消防本部、大洲地区広域消防事務組合消防本部、八幡浜地区施設事務組合消防本部、西予市消防本部の提供資料（搬送実績）より作成

【伊予ICから愛媛医療センターへの所要時間】



※ 所要時間：ETC2.0プローブデータ〔国土交通省提供データ〕より算出
 開通前 | R3.9～11平日、開通後 | R6.9～11平日の昼間12時間平均値
 ※ 一部の市道区間は「令和3年度全国道路・街路交通情勢調査」より、愛媛県の地方道平均の28.6km/hを使用

【関係者の声】



東温市は同じ松山医療圏であることもあり、近年は年間300件以上の搬送があります。東温スマートICを利用することで、**搬送先病院によっては時間短縮**ができています。



四国がんセンター及び愛媛医療センターへは東温スマートICを主に利用しており、**搬送時間も5分以上は短縮**しています。



東温スマートICを利用することで、**医療機関へ最短経路となり、患者への負担軽減**につながっています。ヒアリング調査結果（R7.2）

【愛媛県 二次医療圏域】



- 東温スマートICは令和6年3月の開通に伴い一次緊急輸送道路指定されたことで、周辺地域では新たな緊急輸送道路ネットワークが形成。
- これに伴い、陸上自衛隊や警察機動隊においては緊急時の部隊の派遣時間短縮に貢献しており、市道牛渚西岡線の開通で陸上自衛隊からの出動のさらなる短縮が期待。

【東温スマートIC周辺の緊急輸送道路ネットワークおよび拠点】



凡 例	
— : 一次緊急輸送道路	→ : 開通前ルート
— : 二次緊急輸送道路	→ : 開通後ルート
⋯ : 整備中道路	

一次緊急輸送道路とは

- ・ 主要な都市間及び他県と連絡する広域的な幹線道路（高速自動車国道、国道等）
- ・ 諸活動の拠点と上記の道路を結ぶ道路及び拠点を相互に連絡する道路

二次緊急輸送道路とは

- ・ 一次緊急輸送道路を補完する道路

資料：愛媛県緊急輸送道路連絡図（<https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/106420.pdf>）

※国土地理院ウェブサイト「地理院地図（電子国土Web）」の地図画像を加工して作成

【陸上自衛隊松山駐屯地から南予方面（松山IC）への所要時間】



- ※ 所要時間：ETC2.0プローブデータ【国土交通省提供データ】より算出
開通前 | R3.9～11平日、開通後 | R6.9～11平日の昼間12時間平均値
- ※ 一部の市道区間は「令和3年度全国道路・街路交通情勢調査」より、愛媛県の地方道平均の28.6km/hを使用

【関係者の声】



開通後に派遣事案は発生していませんが、東温スマートICが最寄りICになり、高速道路へのアクセスは開通前の川内IC利用に比べて短縮しました。災害によるIC不通時の予備経路が確保され、部隊運用の融通性が向上されることが予想されます。



機動隊が東温市に移転した平成29年7月から、松山自動車道の上り・下り合わせて年間に往復300回以上の利用があります。IC開通後は、基本的に東温スマートICを利用しており、部隊員の派遣時間を短縮することができました。

ヒアリング調査結果（R7.2）

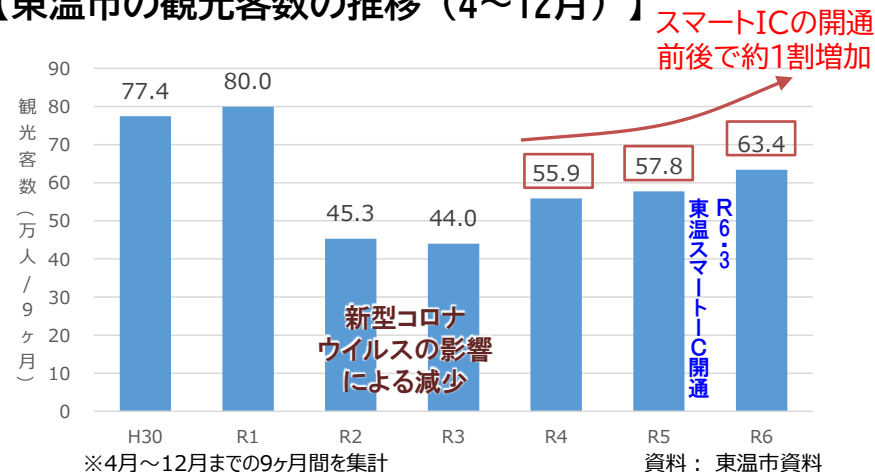
- 東温スマートICの開通、さらに松山外環状道路の開通による相乗効果により、南予方面だけでなく松山空港方面からの東温市内へのアクセスが向上しており、東温市内の観光施設に様々な波及効果が発生。
- 東温市の観光客数は、新型コロナウイルスの影響から回復傾向にあり、スマートICの開通前後で約1割増加。

【東温スマートICと周辺の観光施設の立地状況】



※ 国土地理院ウェブサイト「地理院地図（電子国土Web）」の地図画像を加工して作成
※ 図中の観光施設は、愛媛県観光ガイドえひめぐりMAP（2024.10）より抜粋

【東温市の観光客数の推移（4～12月）】



【関係者の声】



入浴宿泊施設

施設として南予からの利用が増加している印象です。宿泊者を対象に東温スマートICのアクセス性を有効活用して当施設を拠点とした各種ツアーを予定しています。



銘菓製造販売

東温スマートICが開通したことで、バスツアーの立ち寄りが容易になり、南予方面（大洲・内子）～道後温泉のコースに当施設への立ち寄りを加えてもらいました。



ゴルフ場

高速道路からの所要時間が約5分となり、お客様にアピールしやすくなりました。松山空港からのアクセスが非常によくなったので、インバウンド客の増加に寄与しています。

ヒアリング調査結果（R7.2）

【松山空港から東温市の複合レジャー施設への所要時間】



※ 所要時間：ETC2.0プローブデータ [国土交通省提供データ] より松山空港入口交差点からレスパシティまでを算出
開通前 | R3.9～11、開通後 | R6.9～11の平日昼間12時間平均値

※ R6.2の松山外環状道路（余戸南IC～東垣生IC、2.4km）の開通を含む

※ 一部の市道区間は「令和3年度全国道路・街路交通情勢調査」より、愛媛県の地方道平均の28.6km/hを使用